

「なごみひょっこ笑福隊」などが姉妹都市・公州市を訪問

9月27日(土)・28日(日)、「なごみひょっこ笑福隊」などが韓国・公州市を訪問しました。広州市とは1979年に旧菊水町が姉妹都市を提携して以来、盛んに交流を行っています。今回は、公州市で開催された「第60回百済文化祭」にあわせて、「なごみひょっこ笑福隊」や「なごみ芸能団」など総勢22人で、公州市街地でのパレードやステージイベントに参加しました。

特にパレードでは観客との距離も近く、初めて見るひょっこ踊りにたくさんの笑顔と大きな歓声があがっていたのが印象的でした。

今回の交流で、相互理解がより深まることを期待します。



ひょっこ踊りは公州市の人々にも大評判となりました

いざという時の『災害発生時における物資等の緊急輸送に係る協定』

9月29日(月)、県北広域本部玉名地域振興局で、荒尾・玉名地域2市4町と熊本県トラック協会による「災害発生時における物資等の緊急輸送に係る協定書」の調印式が行われました。

この協定は、地震その他災害が発生し、または発生するおそれがある場合に食料品や衣料品などの生活必需品の輸送業務やがれきの輸送業務などを優先して実施してもらうものです。調印式には、2市4町の首長とトラック協会の岩下哲三会長が出席し、県北広域本部玉名地域振興局の森永正英局長が立ち会いました。



調印を行った2市4町の各首長とその関係者

立石区で子タヌキ踊り ～地域での世代間交流～

10月11日(土)、立石公民館で、「立石子タヌキ踊り」が行われました。この行事は、地区のお月見会に、子ども会による子タヌキ踊りを新たに加えることで、地域・世代間の交流を図ったものです。今回が初めての試みとなりました。

当日は、竹提灯の灯りが照らす中、地区の子どもたちがタヌキの衣装を身にまとい、笛・太鼓・バイオリンの曲に合わせて、子タヌキ踊りを披露。他にも、大正琴が奏でる「荒城の月」で子どもたちと女性が、一緒に創作踊りを踊りました。

タヌキに扮した子どもたちが、いきいきと踊る姿に、見に来た人々もエネルギーをもらったことでしょう。



タヌキの衣装を身に着け踊る子どもたち

第1回車座集会開催 ～肥後民家村をもっと活をるぞ!～

9月24日(水)、中央公民館で、「和水町^{くるまざ}車座集会」を開催しました。これは、広報なごみ8月号でお知らせしましたとおり、今後のまちづくりについて町長と意見交換を行う集会です。

第1回目となる今回、毎年5月に肥後民家村で「里山美術展」を開催されている、里山楽縁企画の皆さんとの意見交換が行われました。肥後民家村をもっと活かすため、他の地域おこしグループと連携による魅力の発信や、専属スタッフの配置によるおもてなしやイベントの立案、リピーターを増やすアイデアなど、大変貴重なご意見を頂きました。

車座集会に関する問い合わせ先
本庁 企画課 企画係 ☎0968・86・5721



福原町長を囲んで熱心な意見交換が行われました

新たな農業の担い手 ～新規就農者激励会～

9月24日(水)、役場本庁で、平成26年度新規就農者激励会が行われました。

本年度の新規就農者は5人で、福原町長から激励を受けた後、それぞれの農業に対する熱い思いを述べていただきました。

農業後継者の確保・育成が課題とされるなか、和水町の農業担い手として、今後ますますのご活躍を期待します!!

氏名	行政区	経営類型
原 和樹さん	上和仁	水稻+ミカン
井上耕太郎さん	竈門	酪農
菅原 陽介さん	西吉地	水稻+野菜
菓 健一さん	西吉地	水稻+ナス
竹下耕太郎さん	山十町	水稻+ナス+筍



新規就農者の皆さんとその関係者

文部科学大臣表彰を受賞 ～和水町のスポーツ振興に多大な貢献～

9月25日(木)・26日(金)、第55回全国スポーツ推進委員研究協議会岩手大会が開催され、本町スポーツ推進委員の荒木拓馬さん(上岩)がスポーツ推進委員功労表彰(文部科学大臣表彰)を受賞されました。この賞は長年、スポーツ推進委員として、地域スポーツの推進に多大な貢献をした人に贈られる賞です。

荒木さんは、昭和55年から町スポーツ推進委員(旧体育指導委員)として、学校部活動における指導や総合型地域スポーツクラブの設立運営に参画されるなど、地域におけるスポーツの普及・指導に幅広く活動され、その功績が認められ今回の受賞となりました。



文部科学大臣表彰を受賞された荒木さん